

表 5-1 Q6、Q8 に関して最も改善の見られた科目

科目名		2013 年度 回答者数	Q6 平均		Q6 の差	Q8 平均		Q8 の差	差の平均
			2013 年度	2012 年度		2013 年度	2012 年度		
62190	材料物理化学	38	1.789	2.333	-0.544	1.816	2.241	-0.425	-0.48441
62340	物性物理学	41	2.308	2.843	-0.535	2.200	2.600	-0.400	-0.46772

自由記述の回答を見てみると、どちらの授業も、板書がよく見えない、声が聞こえにくいという意見が見られなくなった一方で、授業における演習問題への取り組み評価する意見が見られた。板書、声という授業における基本的な伝達要素が改善された一方で、受動的に説明を聞くだけでなく、聞いたことを踏まえて自ら問題を解くということが、授業目標の達成感や授業を有意義と感じることにつながっていたのではないかと考えられる。

授業アンケートデータの有効活用

教員個人の授業方法の改善に資することはもちろんであるが、本アンケートを利用して、学科(教育単位)ごとに組織的な授業改善に取り組んでいる。その例として以下のものが挙げられる。

1. 各質問項目について、高い評価を得た科目と教員を教室会議で公表する。
2. 結果のヒストグラムを作成し、各教員に自分の評価の相対的位置を知らせる。
3. アンケートで悪い評価となっている教員に、学科長からその旨通知し熟慮を促す。

2) 工学部優秀教育者表彰 (ティーチングアワード)

I 基本方針

ティーチングアワードは、平成 13 年度に始まり本年度で 14 回目である。学生に良かったと思われる授業を投票させ、その結果をもとにして各学科より表彰対象となる授業担当教員を選出し、工学部として表彰するものである。その目的は、教育に対する教員の功労をたたえる目的に加え、「学生・教員相互触発型授業検討会」を通して、優れた教育法についての情報を他の教員に伝えることにより全体的な教育の質のレベルアップを計ることにある。

平成 22 年度第 10 回までの受賞者調査により、必修科目担当者の受賞率が比較的高いことが明らかになったことから、平成 23、24 年度は、必修科目とそれ以外の科目（選択必修科目、推奨科目および自由選択科目）を担当するそれぞれの教育者を別々に選考する新規方法で実施された。平成 25 年度は、推薦科目数を 2 から 3 に改めて実施された。今年度は、平成 25 年度からの方法を踏襲した形で実施した。

II 実施内容

① 投票対象の学年および授業科目について

対象学年を 1～3 年生とする。また、対象授業科目は、平成 26 年度受講した工学部開講科目（非常勤講師が担当する授業も含む、再履修科目か否かを問わない）とし、教養教育の授業は除くこととする。

② 投票及び評価方法

事前に各学年の学生が最も集まる授業を調査し、1月中旬～下旬に行われるその講義時間の終了10分前に投票を行う。投票における評価方法については、得られた得票数をその講義科目の受講者数（再履修者を含む）で割った得票率を、各学年の対象講義科目数でかけた評点を導入して評価する。なお、その科目の受講者数（再履修者を含む）は、SOSEKIのデータをそのまま利用する。

- ・対象学年：工学部1～3年次学生
- ・評価方法：評点 = ((得票数) / (その科目の受講者数)) × (その学年での開講科目数)
- ・投票方法：推薦する3科目を選択。
必修科目やそれ以外の科目に関わらず自由に3科目を選択。科目の重みづけはしない。
- ・投票日時：平成27年1月13日(火)～23日(金)で最も学生の集まる授業時間
- ・投票時間：授業終了10分前から実施
- ・表彰候補科目：今年度受講した工学部開講科目中、最も良かった必修科目およびそれ以外の科目(※)の授業クラス単位に対し、それぞれ1位のみ。(※) それ以外の科目 → 選択必修科目、推奨科目および自由選択科目

<表彰候補科目の扱いは平成23年度に変更したものを踏襲>

工学部開講科目中、最も良かった授業クラス単位に対し、各学科原則1科目（情報電気電子工学科では2科目）選出する。ただし、前年度表彰科目の連続受賞、あるいは1～2年次選択必修または自由選択科目の上位ランキング入りが生じた場合、その点を考慮して1科目（情報電気電子工学科は2科目以内）追加選出することができる。

Ⅲ実施スケジュール

平成26年（2014年）

- 12月12日(金) ティーチングアワードの対象科目、実施予定日調査依頼提出、
TA学生（院生）報告締め切り

平成27年（2015年）

- 1月5日(月) ティーチングアワードの広報開始
ポスター・委員長名でのメールでの案内
- 1月9日(金) TA学生担当者（大学院）への説明（メールで対応）
- 1月13日(火)～23日(金) 投票期間
各学科、各学年（1～3年）必修授業において投票
- 1月26日(月) 開票・FD委員会 TAと委員全員で集計
集計結果を元に、学科に持ち帰って候補者の選定
→ FD委員会 → 教授会へ報告
- 4月24日(金) 優秀教育者表彰式および学生・教員相互接触型授業の検討会

② 投票及び評価方法

事前に各学年の学生が最も集まる授業を調査し、1月中旬～下旬に行われるその講義時間の終了10分前に投票を行う。投票における評価方法については、得られた得票数をその講義科目の受講者数（再履修者を含む）で割った得票率を、各学年の対象講義科目数でかけた評点を導入して評価する。なお、その科目の受講者数（再履修者を含む）は、SOSEKIのデータをそのまま利用する。

- ・対象学年：工学部1～3年次学生
- ・評価方法：評点 = ((得票数) / (その科目の受講者数)) × (その学年での開講科目数)
- ・投票方法：推薦する3科目を選択。
必修科目やそれ以外の科目に関わらず自由に3科目を選択。科目の重みづけはしない。
- ・投票日時：平成27年1月13日(火)～23日(金)で最も学生の集まる授業時間
- ・投票時間：授業終了10分前から実施
- ・表彰候補科目：今年度受講した工学部開講科目中、最も良かった必修科目およびそれ以外の科目(※)の授業クラス単位に対し、それぞれ1位のみ。(※) それ以外の科目 → 選択必修科目、推奨科目および自由選択科目

<表彰候補科目の扱いは平成23年度に変更したものを踏襲>

工学部開講科目中、最も良かった授業クラス単位に対し、各学科原則1科目（情報電気電子工学科では2科目）選出する。ただし、前年度表彰科目の連続受賞、あるいは1～2年次選択必修または自由選択科目の上位ランキング入りが生じた場合、その点を考慮して1科目（情報電気電子工学科は2科目以内）追加選出することができる。

Ⅲ実施スケジュール

平成26年（2014年）

- 12月12日(金) ティーチングアワードの対象科目、実施予定日調査依頼提出、
TA学生（院生）報告締め切り

平成27年（2015年）

- 1月5日(月) ティーチングアワードの広報開始
ポスター・委員長名でのメールでの案内
- 1月9日(金) TA学生担当者（大学院）への説明（メールで対応）
- 1月13日(火)～23日(金) 投票期間
各学科、各学年（1～3年）必修授業において投票
- 1月26日(月) 開票・FD委員会 TAと委員全員で集計
集計結果を元に、学科に持ち帰って候補者の選定
→ FD委員会 → 教授会へ報告
- 4月24日(金) 優秀教育者表彰式および学生・教員相互接触型授業の検討会

IV受賞結果

平成 26 年度工学部ティーチングアワード（優秀教育者表彰者）

第 14 回工学部ティーチングアワードの受賞科目ならびに受賞者を以下に記す。

表 第 14 回工学部ティーチングアワードの受賞科目ならびに受賞者

学科	科目名	受賞者
物質生命化学科	「定性分析実験」 1年／必修	鯉沼陸央 准教授 吉本惣一郎 准教授 谷口貴章 助教 佐藤徹哉 技術職員
マテリアル工学科	「腐食と電気化学」 2年／必修	山崎倫昭准教授
	「工学英語」 3年／必修	Craig Armstrong 非常勤講師
機械システム工学科	「コンピュータサイエンス入門」 1年／必修	宗像瑞恵 准教授
	「機械製図および CAD 演習」 1年／必修	佐田富道雄 教授
社会環境工学科	「流体の力学」 2年／必修	山田文彦 教授
	「構造の力学応用」 2年／必修	葛西 昭 准教授
建築学科	「建築環境工学演習」 3年／自由選択	矢野 隆 教授 川井敬二 准教授 長谷川 麻子 准教授 高田真人 助教
	「建築設計演習第四」 3年／必修	桂 英昭 准教授
情報電気電子工学科	「基礎数学演習 第一（B組）」 1年／必修	末吉哲郎 助教
	「電磁波工学」 3年／自由選択	奥野洋一 名誉教授
	「量子力学」 3年／自由選択	中村有水 教授
	「工学英語 I」 3年／必修	Jeffrey Morrow 非常勤講師
数理工学科	「統計科学第二」 3年/選択必修	高田佳和 教授

3) 第 18 回 学生・教員相互触発型授業の検討会の実施

第 14 回 優秀教育者表彰式にあわせて、第 18 回 学生・教員相互触発型授業の検討会を開催した。授業内容と工夫に関する受賞者の先生方の講演の後、機械システム工学科、情報電気電子工学科の学生による、学生の立場からの授業改善への要望や意見についてのプレゼンテーションがあり、その発表内容をもとに、学生、教員間での意見交換を行った。

以下に、第 18 回 学生・教員相互触発型授業の検討会の講演者を記す。

日時： 平成 27 年 4 月 24 日（金）12 時 50 分～15 時 30 分

場所： 工学部百周年記念館

主催： 熊本大学工学部授業改善・FD 委員会

参加者： 35 名